

麻しん(はしか)

1、麻しん(はしか)はどんな病気？

- ① 麻しん(はしか)は、麻しんウイルスによって起こる急性の全身感染症です。
- ② 肺炎、中耳炎などを併発やすく、1,000 人に 1 人の頻度で起きる重い合併症に「脳炎」があります。
- ③ 妊娠中に麻しん(はしか)にかかると流産や早産の原因となる可能性があります。
- ④ 感染力が非常に強く、免疫を持っていない人が感染するとほぼ 100%発症し、一度感染すると一生免疫が持続すると言われています。
- ⑤ 海外からの輸入例と、輸入例からの感染事例を認めていますが、連休など人の移動が多い時期には広域に感染拡大するおそれがあります。
- ⑥ 感染症法では、五類感染症(全数把握対象)に定められており、診断した医師はただちに最寄りの保健所に届け出なければなりません。
- ⑦ 学校保健安全法に基づき第2種学校感染症に指定されており、登校は解熱後3日を経過するまで出席停止となります。

2、どんな症状があるの？

- ① 約10～12日間の潜伏期間の後に発熱、咳、鼻水、咽頭痛、眼球結膜の充血などの風邪のような症状で発症し、2～3日が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します

3、どうやって感染するの？

- ① 感染経路は、空気感染(病原体を含む小さな粒子を吸い込むことで感染)、飛沫感染(患者の唾液や鼻汁がくしゃみやせきで飛び散ることや、吸い込むことで感染)、接触感染(患者の手やさわったものを介して、口に入れたり鼻をさわったりすることで感染)があります。

4、治療方法と予防方法は？

- ① 麻しんウイルスに対する特別な治療法はなく、対症療法です
- ② ワクチン接種が一番の予防方法になります。感染を予防することができ、万が一発症したとしても重症化を防止する効果があります。
* ワクチンは生ワクチンに分類されますので、妊娠中の方は接種を受けることができません。また、接種後2か月は胎児への影響を考慮して避妊する必要がありますのでご注意ください。
- ③ 他の人への感染を防ぐために、麻しんの疑いがある際は、かかりつけや医療機関へ連絡し指示に従って受診しましょう。また移動の際はマスクを着用し、公共交通機関の利用をできるだけ避けましょう。